

チェックリスト

①利用者の体調管理

□ こまめな体調確認と記録

発熱だけでなく、呼吸器症状や消化器症状も確認・記録しておく。
利用を控えていただく基準を決めて事前にご家族に伝えておくことよい。



□ 利用者に発熱以外の呼吸器・消化器症状がみられる場合もできる限り個室で対応を

初期症状が食欲不振や倦怠感(元気がない)等、軽い症状の場合もあります。
分離できれば、感染拡大を防ぐことにつながります。

1例目を迅速に発見し、広げない

出典：介護現場における感染対策の手引き

③手洗い・手指の消毒

☑ 手洗いはケア前後 ゴミ・汚物に触れた後 手指消毒前に(目・鼻・口)を触らない

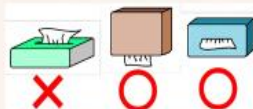
☑ アルコール製剤は動線上に効果的に配置する

☑ ポンプは **必ず下まで押し切ります**

☑ 石ケン は固形でなく、液状・泡状の物を使用する

☑ 手拭きはペーパータオルを使用する。

横または下向きに設置する
ペーパーを捨てるごみ箱は足踏み式の物に



②換気の徹底

□ 換気の頻度は1時間に2回を目安に

二酸化炭素濃度計で換気状況もチェックできます。
1000ppmを超えたら換気を目安。



□ 2方向の窓を開ける。窓が一つの場合はドアを開ける

□ 窓がない場合、部屋の奥から入口に向かってサーキュレーターを回し、外に空気が流れるようにする



□ 換気扇は、反対側の窓も開ける



出典：厚生労働省「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法
大阪府 新型コロナウイルス感染症のための換気のポイント

④環境消毒

☑ 職員・利用者がよく触る場所を消毒液を浸したペーパーでしっかり拭きとる スプレーの吹きかけ× (ドアノブ、手すり、テーブル、椅子の肘かけ、スイッチ、水栓レバー、リハビリ器具等)



テーブルの消毒は
往復せず、一方向か
S字を描くように拭く



テーブルは
縁も忘れずに



～細かい点かもしれませんが(消毒)～

実際には、共有する**鍵の束**、スタッフルームにある**共有パソコンや受話器**などについても指摘がありました。



チェックリスト

⑥送迎の場面での取組

車内は狭く密になりやすいので感染リスクが高くなります。



- 換気の徹底 外気導入でエアコン(最大風量の半分以上)定期的に複数の窓を開ける



- 送迎時の“密”の回避

- ①座席の間隔を空ける 座席をひとつあける 2回に分けて送迎する
- ②乗車前後の対策 乗車前の検温・体調確認を行い、手指消毒のうえ乗車してもらう。送迎後は車両の消毒を。
- ③乗車中の会話を控える マスクを着用し、乗車中の会話は控えるようにする。
- ④座席表の記録 接触者の把握のため、座席と車内の滞在時間を記録しておく。

出典：通所系 介護職員のための感染対策マニュアル
通所系 障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策マニュアル

⑧食事介助(介助者)の取組

- ゴーグル、マスクを着用し、飛沫から粘膜(目・鼻・口)を守る

- 対面にならず、側面(斜め後ろ)から介助する



- 別の人の介助を行う前には、手袋は必ず交換し、手指消毒を行う



※ 口腔ケアは食事介助と同様です。

出典：通所系 介護職員のための感染対策マニュアル
介護現場における感染対策の手引き

⑦食事の場面での取組

- 食事時の“密”を徹底して回避する

<取組(例)>

- 食事介助で見守りが必要な入所者の食事の時間帯を前半・後半のグループ等に分散する。
- 自力で食事摂取できる入所者は個室での摂取とし、食事の時間帯に集まる人数を減らす。
- テーブルで対面での着席を行わず、隣席と1席以上の間隔を空ける。



対面は不可



※ アクリル板があればなおよいです。
ただし、アクリル板があるから“対面”や“密”にしてもよいというわけではありませんので、ご注意ください。



⑨入浴介助に関する取組

- 入浴介助時の飛沫を防御する

入浴は、マスクを外した方と至近距離での介助で、身体接触もします。

- ①マスク、ゴーグルを着用し、換気も行いましょう。ゴーグルは曇り止めで曇らない工夫を
- ②できる限り個浴にし、脱衣所でも複数の方が一緒になる場合は、会話は控えるようにしましょう。



入浴介助で手袋は褥瘡や下痢がなく、体液・排泄物に触れる可能性がない場合は必須ではありませんが、新型コロナの流行期には着用在望ましい

出典：入浴型高齢者施設における日常的な入浴介助のための感染対策手順書